【佳作】

さざめき

外国語学部英語英文学科1年　菊池　暖

あなた方の普通という思想に殺される
もがれた羽は地に落ちた　とりかごのなか　と
べないとり
もう誰にも見つかりたくはないから、足音みた
いな雨の後ろに隠れてくすくす笑った
見つけないで　誰も　見つけないで
その時のあなたの横顔がやけに綺麗だったの
は、どうしてだろう
綺麗で、かなしかった

あなた方の普通という思想に殺される

窓枠の外を眺めていたよ
喉元で膨れあがる言葉は、光を知ることなく破
裂して、私だけが怪我をしているように思えた
涙が溢れる　私の言葉は未だに冷静さを保って
いる

駅構内は　人が泳いでいる
しっかり進まないと　流されてしまいそうにな
る
群れなすそれらの足音は規則的だ

みんな明日を夢見てた
その渦のなかで泣き叫ぶように歌ったらそれが
身体の中できらきら、くらくら、はじけた
あんまりにもそんなのが綺麗だからみんな泣い
ているんだと思う
きっと、そうなんだと思う
逃げだそうと言ったあなたの手をとれなかった
こと　今でも悔やんでいる

あなた方の普通という思想に殺される

コメント

「普通」という言葉は、まるで刃物のようです。人を簡単に苦しめることのできる言葉に、常に私たちは見つめられています。傷つけられたそこから溢れるものは誰にも届くことはないけれど輝いているのは間違いないと思います。
そんなことを、考えました。